

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立 門司障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市門司区大字畑 1 8 0 8 番地		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <span style="border: 1px solid black;">完全利用料金制</span>		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人あすなろ学園		
	所 在 地	北九州市小倉南区大字新道寺 1 1 0 0 - 1		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（施設入所支援、生活介護、就労移行支援（一般）、就労継続支援（B型））の管理運営。		
指定期間		平成 2 3 年 4 月 1 日～平成 2 8 年 3 月 3 1 日		

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		30
<b>(1) 施設の設置目的の達成</b>		25	3	15
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。				
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。				
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。				
<b>【評価の理由、要因・原因分析】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画に沿った適切な管理運営が行われており、各サービスにおいて、個別支援計画等に基づき、利用者の障害特性や個別のニーズにあったサービスに努めている。</li> <li>・生活介護において、ニーズ別活動メニューを実施し、より個人の障害特性やニーズにあったサービスの提供に努めている。</li> <li>・就労系サービスにおいて、JR門司駅前再開発の一環である赤煉瓦醸造棟の花壇整備、白野江植物公園内の芝生広場や駐車場内花壇管理の業務委託での実施や、農園芸においては、花の苗や野菜の生産を継続的な取り組みや販路拡大などにより、工賃増額に努めている。新規販売先：「門司ゴルフ場」「労災病院」「市立門司病院」</li> <li>・利用者1名の就労（個人事業者）が実現している。（H25年度目標値：1名以上）</li> </ul>				
<b>【月平均工賃額】</b> <span style="float: right;">単位：円</span>				
年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	—	5,400	6,500	9,800
実績	7,624	9,269	9,375	8,733
<b>【一般就労】</b> <span style="float: right;">単位：人</span>				
一般就労(人)	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	—	1名以上	1名以上	1名以上
実績	1	2	1	1
<b>(2) 利用者の満足度</b>		25	3	15
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。				
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。				
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。				

④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。			
⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

**【評価の理由、要因・原因分析】**

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、概ね75%（生活介護88%、就労支援89%、入所者75%）を超えており、全体としては利用者の満足度は概ね満たされたものとなっている。
- ・食事に対する取組みとして、利用者家族への試食会や利用者の嗜好調査・管理栄養士による個人別給与栄養量の設定により、質の高い食事提供に取り組んでいる。
- ・行事等の実施にあたっては、年間行事のニーズ調査の実施や利用者も企画等に参加できるようにしており、また、ボランティアも多く受け入れ利用者との交流も行われている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度（年4回開催）を設けており、全事例について引継ぎ・会議にて周知する等対応をしている。
- ・毎月の予定表の配付等のほか、入所者家族懇談会の開催（年6回）、通所利用者との連絡帳による各種お知らせ情報提供を実施しており、緊急時の連絡網も整備されている。
- ・センター祭（「門司活まつり」）やバスハイク等の行事、クラブ活動（料理、絵画、スポーツや音楽）を実施し、利用者の日々の生活の充実や生きがいをづくりにも、努めている。 ※センター祭参加者数 720名（目標 700名）

**施設の総合評価**

**【満足度】**

単位：%

年度	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	80	81	82
実績(入所)	79.4	82.7	74.7
実績(生活介護)	85.4	77.1	88.4
実績(就労支援)	87.7	82.2	88.9

2 効率性の向上等に関する取組み	15		9
(1) 経費の低減等			
① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。	15	3	9
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

**【評価の理由、要因・原因分析】**

・職員による時間外勤務の削減や清掃の実施、ペーパーレス化等により経費の削減に取り組んでいる。また、利用者の体調や安全に配慮しつつ、冷暖房や照明等の使用量の削減に努めている。

※月平均時間外勤務時間 9時間（目標 10時間以内）

**【指定管理料】**

単位：千円

年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	31,075	31,075	0	0
決算	31,074	31,074	0	0

※H24年度より完全利用料金制に移行

**【光熱水費】**

単位：千円

年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
予算	21,520	20,138	20,357	19,445
決算	18,990	21,013	19,379	20,548

**(2) 収入の増加**

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

— — —

**【評価の理由、要因・原因分析】**

・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるため、収入増加の工夫の余地がない。

**3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み**

3 5

2 1

**(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況**

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。
- ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

1 5 3 9

**【評価の理由、要因・原因分析】**

・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。

・就労支援や発達障害、虐待防止等の施設外研修に職員が参加し、職員の資質向上を目指しているものの、利用者等から職員の対応に関する苦情が発生しており、施設（法人）内における知識や情報の共有を一層充実する必要がある。

・地域で開催される市民センターや幼稚園等のバザーへの出店、門司活祭りの際には地域住民や地元の小学生が参加するなど、地域との交流及び障害の理解促進に取り組んでいる。

- ・近隣の町内会（3町内会）や福祉施設（5施設）間で「福祉の郷地区町内応援協力会」を結成し、合同防災訓練の実施等、防災面の連携が図られている。
- ・「北九州 NUKUMORI（ぬくもり）プロジェクト」に参加し、商品開発についての知識を高めるため、ブランド化に向けた具体的な事例を学ぶなど、商品開発・販路拡大に努めている。
- ・体験実習として、特別支援学校等の生徒11名（延べ55日間）を受け入れ、生徒の今後の進路決定の一助を担っている。
- ・職場体験や実習としても、社会福祉関係等の資格取得実習生として大学生等14名（延べ32日間）を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。

【門司活センター祭参加者数】

単位：人

年度	【参考】H22年度(更新前)	H23年度	H24年度	H25年度
目標値	—	650	650	700
実績	680	645	712	720

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	20	3	12
② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。			
③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。			
④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。			
⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。			
⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。			
⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。			
⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。			

【評価の理由、要因・原因分析】

- ・利用者の個人情報保護、衛生管理及び事故防止等について、マニュアルを整備するとともに、人権、倫理、虐待に関する研修を実施し、職員の意識向上を図っている。
- ・ヒヤリハットや事故報告書等を基に研修会を実施（月1回）しており、報告書内容の周知や再発防止を図っている。
- ・合同の日中避難訓練を年2回及び入所では夜間想定避難訓練を月1回実施したり、感染症対策マニュアルによる、消毒液やうがい液による施設内の感染予防、注意喚起、利用者の健康管理を行い、利用者の安全確保・感染防止に努めている。

【総合評価】

合計得点	60	評価ランク	C
<p><b>【評価の理由】</b></p> <p>事業計画に沿って施設の運営管理が適切に行われており、利用者の障害特性やニーズにあったサービス提供に努めているものの、事業所内の情報共有等が不足している面が見受けられる。</p> <p>地域等との交流では継続した取り組みが図られており、また、就労系サービスについては、販路拡大への取り組みや新商品の開発、施設外就労先の確保により工賃の増額に努めている。</p> <p><b>【今後の対応】</b></p> <p>職員の研修内容の充実や事業所内の周知、情報共有の体制づくりに取り組むことにより、利用者・保護者からの一層の安心感を得られるようになることを望む。また、就労系サービスにおける利用者支援（工賃UP、一般就労）に向けた取り組みは今後も充実されることを期待する。</p>			

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

就労系サービスにおいて、販路拡大への取り組みや施設外就労の確保などに努め、工賃は目標に届かなかったものの、利用者の就労が実現したことは評価できる。

今後は、工賃の上昇や一般就労の増加などに向けた、更なる取り組みを期待したい。

また、事業所内の情報共有等の体制づくりなど、利用者・保護者から一層の安心感を得られる仕組みを検討していただきたい。

【評価レベル】

評価レベル	乗率		評価レベルの考え方
5	100%	良	要求水準を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

### 【総合評価】

- S : 総合評価の結果、特に優れていると認められる  
(合計得点が90点以上)
- A : 総合評価の結果、優れていると認められる  
(合計得点が80点以上90点未満)
- B : 総合評価の結果、やや優れていると認められる  
(合計得点が70点以上80点未満)
- C : 総合評価の結果、適正であると認められる  
(合計得点が60点以上70点未満)
- D : 総合評価の結果、努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点以上60点未満)
- E : 総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる  
(合計得点が50点未満)